春季特別展 ―創作人形の世界―

# 渡辺うめ人形展

2021
4/10(土)→6/6(日)

会場／姫路市書写の里・美術工芸館

開館時間／午前10時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
※休館日／月曜日（5月3日は開館）、5月6日（木）

入館料／一般310（250）円、大学・高校生210（160）円、中学・小学生50（40）円
※常設の展示もご覧いただけます。（　）内の料金は20人以上の団体

●身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方、及び介護者1人、姫路市内在住の65歳以上の方、どんぐりカード、ココロンカード提示の小中学生は無料。

主　催／姫路市書写の里・美術工芸館、神戸新聞社
後　援／サンテレビジョン、ラジオ関西
協　力／養父市立全天候運動場、朝来市和田山郷土歴史館、渡辺うめ人形友の会、陽だまり舎
企　画／公益財団法人 姫路市文化国際交流財団

収　穫
（1983~85年頃制作）
朝来市和田山郷土歴史館 所蔵

朝の祈り
（1992年制作）
養父市立全天候運動場 所蔵

但馬に生きた渡辺うめの人形作品を展示するとともに、播磨で活躍する創作人形作家の作品も紹介します。

姫路市書写の里 美術工芸館
SHOSHA ART & CRAFT MUSEUM

## 姫路市書写の里・美術工芸館

〒671-2201 姫路市書写1223番地 TEL.079-267-0301 FAX.079-267-0304
ホームページ https://www.city.himeji.lg.jp/kougei/

右記QRを読み込んでホームページへ簡単アクセス

渡辺うめ（90歳の頃）

# 但馬の地で暮らしながら、農村で生きる人々の姿と暮らしを見つめ、深い愛情を込めて制作された人形たち。

渡辺うめ（1907-2014年）は青森市に生まれ、昭和10年から東京の小学校で看護師として働き、昭和12年に小学校教諭の渡辺武一と結婚、昭和19年に夫の郷里である兵庫県八鹿町（現：養父市）に移り、以後但馬の地で暮らしました。昭和50年代から人形制作に本格的に取り組み、数々の農民人形を誕生させ、107歳で生涯を閉じました。農村に生きる人々をテーマにした人形作品は、ふるさとの原風景を想像させ、現在でも根強い人気があります。

本展では但馬に生きた渡辺うめの人形作品を展示するとともに、播磨で現在活躍する創作人形作家にも焦点をあて、その作品を紹介します。


あかぎれ
（1993年制作）
養父市立全天候運動場 所蔵

さなぼり
（1991年制作）
養父市立全天候運動場 所蔵

牛飼い
（1994年制作）
養父市立全天候運動場 所蔵

## 渡辺うめ プロフィール

1907(明治40)年　3月23日　青森県青森市に生まれる
1927(昭和 2)年　20歳　北海道大学医学部付属病院看護法講習科卒業
1940(昭和15)年　33歳　第10回童宝美術院展で「女中にきた子」が優秀賞
1944(昭和19)年　37歳　戦争のため夫の郷里（現：兵庫県養父市八鹿町宿南）に移る
1979(昭和54)年　72歳　八鹿町中央公民館手づくり教室講師（～1987）
1984(昭和59)年　77歳　兵庫県婦人手工芸展で知事賞
1985(昭和60)年　78歳　あぜみちの詩－渡辺うめ人形展（神戸・豊岡・八鹿ほか）
　　人形写真集「あぜみちの詩」発行
1987(昭和62)年　80歳　兵庫県芸術文化団体「半どんの会」文化賞
1988(昭和63)年　81歳　人形写真集「あぜみちの詩」第二集発行
1990(平成 2)年　83歳　兵庫県ともしびの賞
1992(平成 4)年　85歳　人形写真集「あぜみちの詩」第三集発行、兵教組教育文化賞
1995(平成 7)年　88歳　兵庫県文化功労賞
1997(平成 9)年　90歳　第51回神戸新聞平和賞・文化賞、青森県文化功労賞　明石市に転居する
1999(平成11)年　92歳　平成11年度兵庫県高齢者特別賞、第8回コープこうべ生活文化・福祉賞
2000(平成12)年　93歳　東京都中央区ウェルネス・コミュニティ協会第11回ハーティ・ファミリー賞
2014(平成26)年　107歳　9月16日逝去
現在でもなお、各地で「渡辺うめ人形展」が開催されている。

## 会期中のイベント

### 展示解説会

●日時／4月17日（土）・4月29日（木祝）・5月5日（水祝）・5月22日（土）・6月5日（土）14:00～14:30（いずれも）
●講師／当館学芸員　●定員／各回先着15人
●場所／展示会場　●備考／当日どなたでもご覧いただけますが、入館料が必要です。

### 対談会「渡辺うめ・人と作品」

要申込

●日時／5月29日（土）13:30～14:30
●対談者／石野眞菜氏（渡辺うめ長女）、吉田ふみ子氏（渡辺うめ人形友の会事務局）　●定員／30人
●場所／当館2Fラウンジ
●備考／要入館料。5月20日（木）までに往復はがきかホームページから申し込み。応募多数の時は抽選。

### ワークショップ「新緑陶芸教室」

要申込

●日時／5月9日（日）
①10:00～12:00 ②13:00～15:00
●内容／ねんどをこねて茶碗やカップ、皿など自由に作ります。（小雨決行）
●講師／夢工房陶冶の皆さん　●定員／40人（①②とも）
●場所／当館芝生広場（屋外）
●参加費／1,100円
●備考／4月22日（木）までに往復はがきかホームページから申し込み。応募多数の時は抽選。

### 姫路こま製作体験教室

要申込

●日時／5月15日（土）
①10:00～12:00 ②13:00～15:00
●内容／木工ろくろの使い方を学びながら、ミズメザクラを削り姫路こまを作ります。
●講師／村岡正樹さん（姫路こま職人）
●定員／各時間帯1人（18歳以上）
●場所／当館工芸工房　●参加費／3,000円
●備考／5月6日（木）までに往復はがきかホームページで申し込み。応募多数の時は抽選。

## 特別出品　播磨で活躍する創作人形作家

### 荒木富佐子

あらきふさこ
（1947年神崎郡生まれ）

「うん?」

渡辺うめさんとの出会いは約30年前にさかのぼります。私の人形の初めての師ともいえるうめさんは、私の人形創りの方向を決定づけました。それは私が子供時代を過ごした市川町での暮らし、心に残っている風景、家族との思いでなど、私が心から愛おしいと思うものを和紙人形に託すことなのです。

**他館展覧会情報**

特別展「私のマル 小野田實展」
4月10日（土）～6月20日（日）
姫路市立美術館 Tel.079-222-2288

特別展「猫のダヤン35周年 ダヤンと不思議な劇場 池田あきこ原画展」
4月17日（土）～6月6日（日）姫路文学館 Tel.079-293-8228

**新型コロナウィルス感染症対策**

・ご入館の際には①マスク着用、②検温、③手指の消毒、④代表者の連絡先の記入にご協力ください。
・状況により展覧会や関連イベントを変更、中止することがあります。最新情報はホームページをご覧ください。

## 姫路市書写の里・美術工芸館

〒671-2201 兵庫県姫路市書写1223番地 TEL.079-267-0301 FAX.079-267-0304
■開館時間／午前10時～午後5時（入館は午後4時30分まで）■休館日／月曜日（5月3日は開館）、5月6日（木）

交通のご案内 ●JR・山陽電鉄姫路駅より神姫バス「書写山ロープウェイ」行で約25分、終点下車徒歩約3分 ●姫路バイパス・姫路西ランプより約15分 ●山陽自動車道・姫路西ICより約10分 ●中国自動車道・夢前スマートICより約15分 ●無料駐車場（45台）

●次回展示／企画展「播磨の工芸紹介―青野武市のガラス工芸―」6月12日（土）～27日（日）

書写の里・美術工芸館 検索